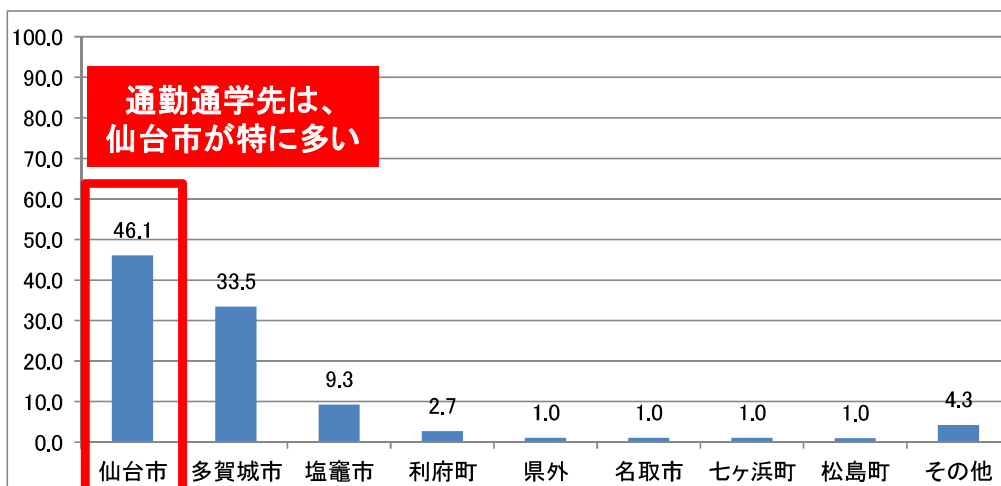


## 2 地域の現状

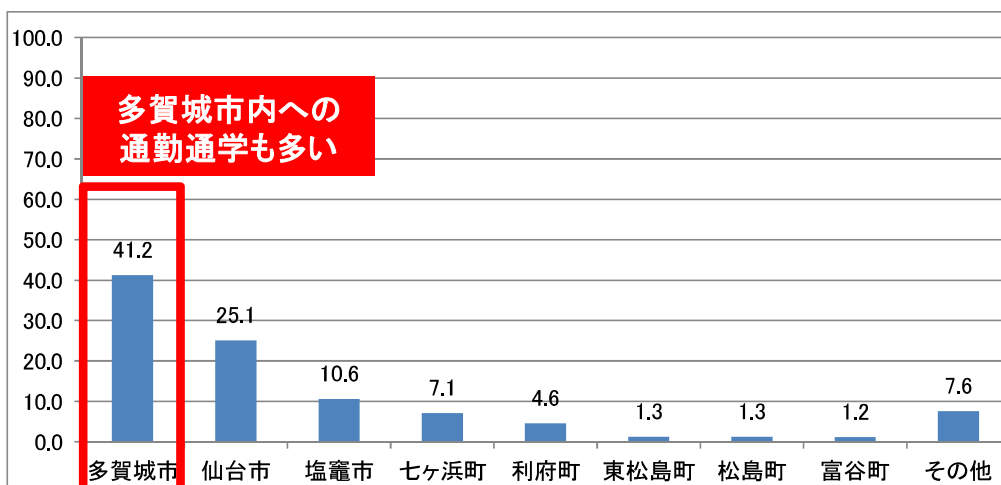
### 2-1 移動量の状況

- ◆通勤通学先は、仙台市、多賀城市内、塩竈市、利府町が多い。
- ◆市民の日常的な最寄り品の買物先は、多くが多賀城市内であり、七ヶ浜町民の多くも多賀城市内で買い物をしている。



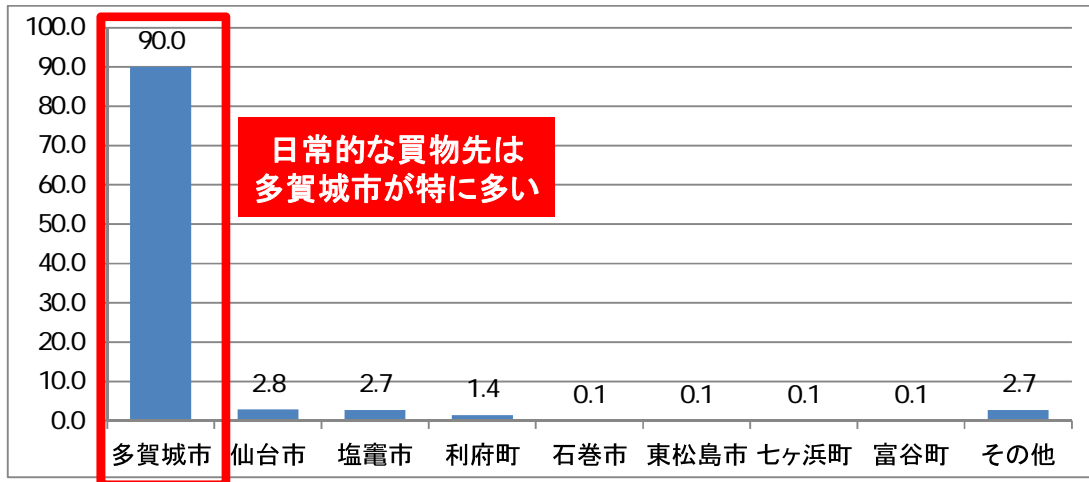
資料:平成 22 年国勢調査

▲多賀城市民の通勤通学先 (%)



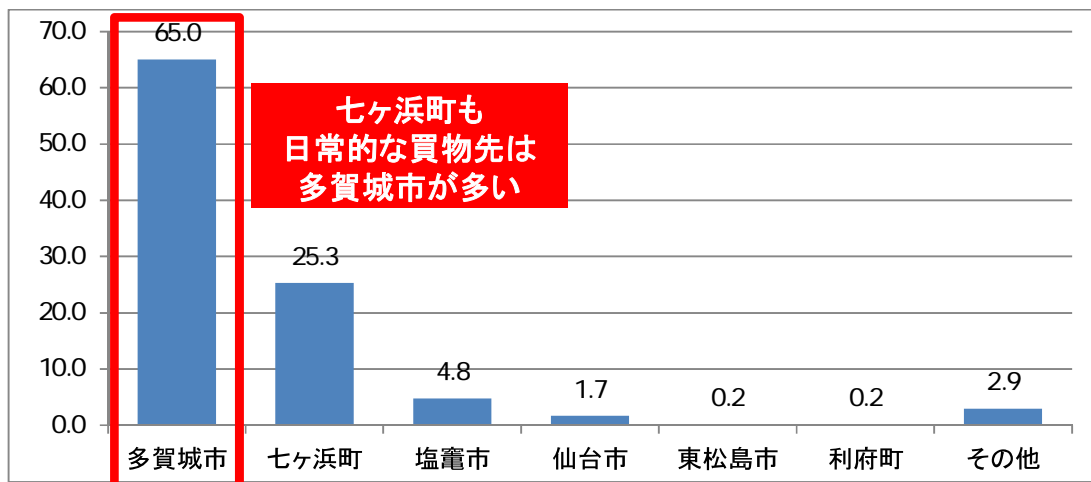
資料:平成 22 年国勢調査

▲県内から多賀城市への通勤通学 (%)



資料:7 県消費購買動向調査

▲多賀城市民の買物先(最寄り品、%)



資料:7 県消費購買動向調査

▲七ヶ浜町民の買物先(最寄り品、%)

## 2-2 今後のまちづくりによる需要変化

- ◆JR 多賀城駅周辺において連続立体交差事業、土地区画整理事業等を一体的に実施し、駅周辺の拠点性を高める。
- ◆平成 27 年以降、被災者は、仮設住宅から災害公営住宅に移動する。
- ◆新たな企業を誘致し雇用の創出、自主財源の確保のため、八幡地区に工業団地の整備を進める。



駅南側鳥瞰図

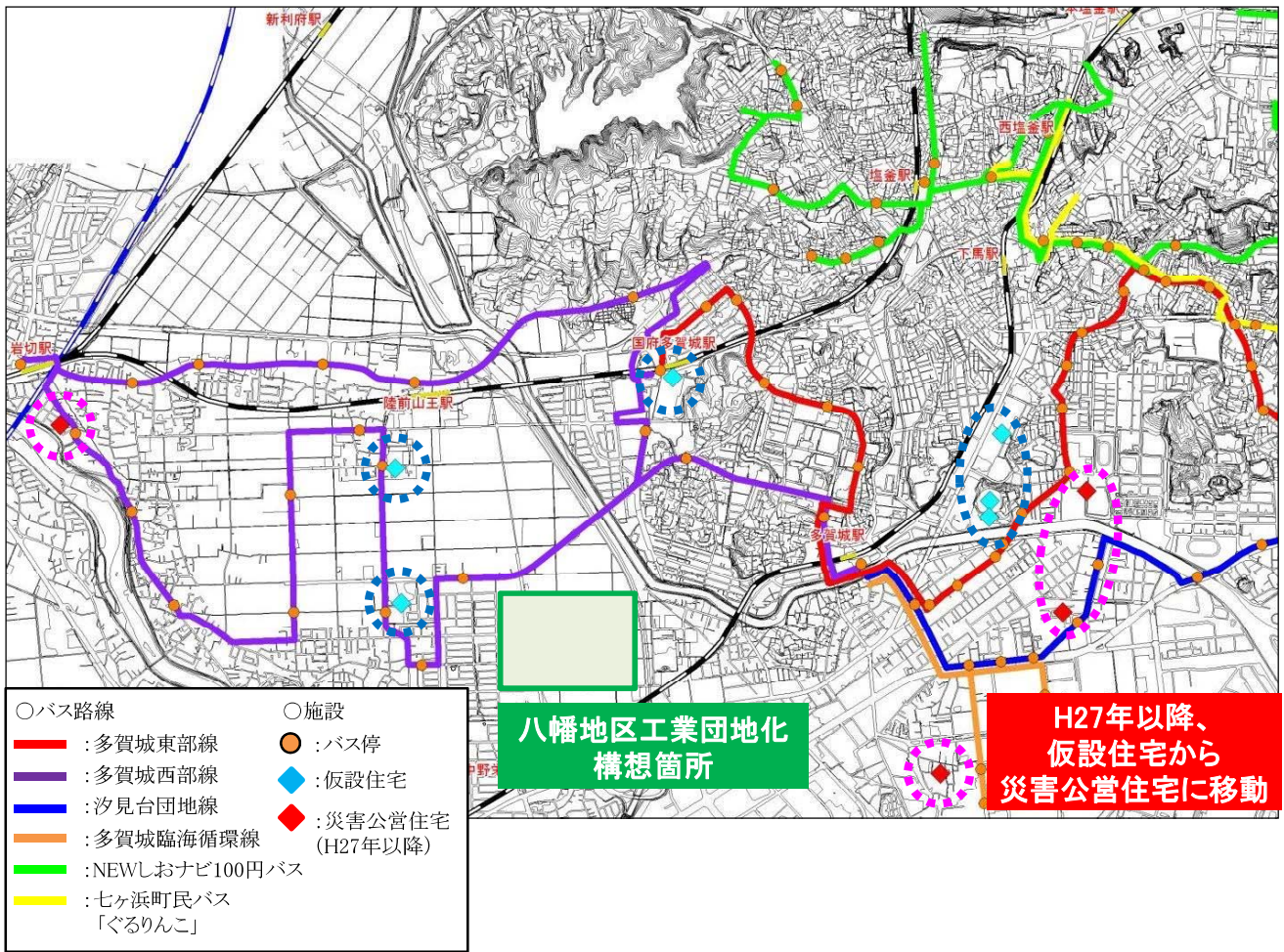
駅構内を南北に  
通り抜けることが可能となる



駅北側鳥瞰図

資料: 多賀城駅周辺整備計画

▲多賀城駅周辺整備計画



▲仮設住宅と災害公営住宅及び工業団地の位置図